

# 歴史のなかの源氏物語

山中 裕 編

2011年11月刊行予定

▶ 四六判・290頁／定価2,310円(税5%込)

ISBN978-4-7842-1423-5

『源氏物語』のなかに、この時代の世相が、どのように反映しているか。撰閲時代の文化のあり方、女流日記と女房文学の本質、とくに藤原道長の存在と紫式部との関係に重点を置いた編者渾身の『源氏物語』論を第一部とし、第二部以降では、準拠論、節会の本質と意義、年中行事・通過儀礼の宴と儀式の本質など、一五人の気鋭が、歴史のなかの源氏物語について最新の研究成果を展開する。



## 内容目次

### 第一部 歴史のなかの源氏物語

『源氏物語』誕生の歴史的背景・・・・・・・・・・ 山中 裕 (東京大学史料編纂所元教授)

### 第二部 準拠と古注釈

『源氏物語』における準拠とその意味・・・・・・・・ 藤本勝義 (青山学院女子短期大学教授)

「準拠」の来歴について・・・・・・・・・・ 佐藤信一 (白百合女子大学教授)

秋好中宮の童女・・・・・・・・・・ 松野 彩 (成蹊大学非常勤講師)

『源氏物語』の古注釈と歴史・・・・・・・・・・ 松岡智之 (静岡大学准教授)

延喜・天曆の治・・・・・・・・・・ 木村由美子

失われた空間の物語 —『河海抄』の延喜天曆準拠説— 塚原明弘 (東京都立西高等学校教諭)

藪負尉と簾中の人影 —松風巻試解—・・・・・・・・ 吉田幹生 (成蹊大学准教授)

### 第三部 風俗と通過儀礼

節会と宴 —紫式部の描く王権—・・・・・・・・ 大津 透 (東京大学教授)

「おほぎみ姿」について・・・・・・・・・・ 近藤好和 (国際日本文化研究センター他客員教授)

通過儀礼に対する平安貴族の認識 —産養をめぐる— 武井紀子 (日本学術振興会特別研究員)

光源氏の元服と穀倉院・・・・・・・・・・ 磐下 徹 (関東学園大学講師)

「碁聖が碁にはまさらせたまふ」浮舟考・・・・・・・・ 川村佐和 (東京都立大森高校)

### 第四部 『源氏物語』をとりまく文学

『紫式部日記』の紫式部・・・・・・・・・・ 池田尚隆 (山梨大学教授)

源氏物語の和歌批評と漢詩文引用・・・・・・・・ 飯沼清子 (國學院大學講師)

歴史物語はなぜ書かれたか・・・・・・・・・・ 中村康夫 (国文学研究資料館教授)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	歴史のなかの源氏物語	本体2,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1423-5	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い下さい)				書店番線印

## 日本の心と源氏物語

岡野弘彦編

〈シリーズ古典再生②〉

記紀や万葉集などの広い視点から、師である折口信夫が体系化できずに終わった「いろいろのみの道徳」論に向きあい、『源氏物語』に流れる日本の心を読み解く。【内容】『源氏物語』から読む日本人の心の伝統／『源氏物語』の演習方法と実際／民俗から読む『源氏物語』 他  
▶46判・246頁／定価1,890円 ISBN978-4-7842-1412-9

## 一千年目の源氏物語

伊井春樹編

〈シリーズ古典再生①〉

単なる古典復興ではなく、それらの作品を現代の眼でもう一度見直して再生することを目指して開催されたシンポジウム「一千年目の源氏物語」と「私の源氏物語」を元にし、斯界の識者による「源氏物語論」を集約。次の世代へとその価値を継承する。  
▶46判・252頁／定価1,680円 ISBN978-4-7842-1408-2

## 源氏物語 千年のかがやき

国文学研究資料館編

新出の国文学研究資料館蔵『源氏物語団扇画帖』全54枚をカラーで掲載し、詳細な解説を付す。あわせて図様が近似する他の源氏絵についても参考資料として多数掲載。源氏物語が千年間どのように享受されてきたのか、豊富なカラー図版で紹介する。  
▶A4判・168頁／定価1,995円 ISBN978-4-7842-1437-2

## ※源氏物語の地理

角田文衛・加納重文編

作品の世界を構築しながら微妙に交差する虚構と実在。これまで等閑視されてきた『源氏物語』の地理的考察において創始的な意義を持つ研究論文を集成し、作品中に形象した地理的世界の把握を目指すアンソロジー。  
▶A5判・436頁／定価6,510円 ISBN4-7842-1010-5

## ※古記録と日記 [上・下]

山中裕編

日記という大きな見地から平安朝の古記録と日記文学の本質を明らかにすることを主眼としている。挿入図版60余点。【内容】日記の成立と変遷／平安朝と日記／古記録とかな日記／日記とその周辺  
【上巻】▶A5判・252頁／定価3,045円 ISBN4-7842-0752-X  
【下巻】▶A5判・266頁／定価3,045円 ISBN4-7842-0753-8

## 石山寺の信仰と歴史

鷲尾遍隆監修／綾村宏編

琵琶湖畔瀬田川のほとりに構える石山寺は、西国三十三所札所として知られ、紫式部が源氏物語の着想を得たという伝説が残るなど、その信仰と文化が育み守られてきた名刹である。石山寺の信仰・歴史・美術・文学・経典を豊富なカラー図版とともに解説。  
▶A5判・178頁／定価1,890円 ISBN978-4-7842-1387-0

## 絵巻 大江山酒吞童子・芦引絵の世界

逸翁美術館編

逸翁美術館で行われている同名展の図録。館所蔵「大江山絵詞」（重文）とサントリー美術館所蔵「酒伝童子絵巻」を全巻カラー掲載し、酒伝童子絵巻の二大系統を対比。館所蔵「芦引絵」（重文）、軍記物の絵巻などをも含め、逸翁小林一三の絵巻コレクションを一挙公開。  
▶A4判・96頁／定価1,050円 ISBN978-4-7842-1591-1

## ※入門 奈良絵本・絵巻

石川透著

室町時代後期から江戸時代中期にかけて作られた奈良絵本・絵巻。御伽草子から王朝物語、軍記物語、歌集、日記、随筆、幸若舞曲、仮名草子など広範にわたる奈良絵本・絵巻の世界を、簡単な解説とカラー写真でご紹介する。  
▶B5判・126頁／定価2,100円 ISBN978-4-7842-1531-7

## いけばなにみる日本文化 明かされた花の歴史

鈴木榮子著

古代の供花から現代のいけばなにいたるまで、日本文化に一貫して継承されてきた精神とは、「生」への意識すなわち生命を尊ぶ思想である——いけばなの精神に学問的な光をあて、日本文化という大きな枠組みの中でとらえる。  
▶46判・358頁／定価2,730円 ISBN978-4-7842-1557-5

## 百人一首万華鏡

白幡洋三郎編

和歌・文芸の領域はもちろん、日本人の生活全般にわたって深い関わりをもつ百人一首を、歌の解釈はもとより、歴史、選び方、カルタ、翻訳など、さまざまな角度から紹介し、その文明的広がりをさぐる。それぞれのテーマにそった版本、翻訳本など、カラー口絵(16頁)収録。  
▶B5判・178頁／定価2,520円 ISBN4-7842-1223-X

## ※正倉院宝物に学ぶ

奈良国立博物館編

日々、宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者をはじめ、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院研究の現在、八世紀の東アジア文化、宝物の保存・伝承の3つのテーマで報告・討論。正倉院宝物の精粹がわかる一書。  
▶46判・438頁／定価3,150円 ISBN978-4-7842-1439-6

## ※正倉院展六十回のあゆみ

奈良国立博物館編集・発行

秋の風物詩となっている正倉院展の歩みを、各回の主な出陳宝物の図版や特徴・エピソード・出陳一覧などのデータと、各分野の研究者によるエッセイでたどり、毎回の図録に付されている用語解説を整理・集大成して巻末に付す。  
▶A4判・286頁／定価3,150円 ISBN978-4-7842-1440-2

## 東アジアのなかの日本

上田正昭著

折口民俗学を継承する著者の昨今の論文や講演録などを選んで収録。日本列島の歴史や文化の実像をよりあざやかにするために、海を媒介とするアジアとのかかわり、とりわけ東アジアとの関係を重要なテーマとしてきた著者がまとめた最新の一書。  
▶46判・376頁／定価2,520円 ISBN978-4-7842-1479-2

## ※古代日本の輝き

上田正昭著

日本の歴史と文化を支えている「古代的精神・古代的要素」とはなにか——広くアジア史をも視野に入れて折口民俗学を継承する著者が喜寿の節目にまとめた一書。【内容】アジアのなかの日本／北ツ海文化の再検討／『風土記』の伝承／石門心学の再発見／古代芸能の形成 他  
▶46判・300頁／定価1,785円 ISBN4-7842-1167-5

## 今昔物語集の人々 平安京篇

中村修也著

虚実ないまぜ話柄の豊富な説話文学の古典から平安京という都市で生きる人々——商人・検非違使・怪盗・陰陽師・絵師たち——のさまざまな姿を活写。【内容】都人の楽しみは神社詣で／不思議な力の商人たち／盗賊団の跋扈する都／平安京の冥界と霊力 他  
▶A5判・220頁／定価2,415円 ISBN4-7842-1213-2

## 文学のなかの考古学

門田誠一著

佛敎大学鷹陵文化叢書19

考古学分野を研究する著者が、小説や古典芸能などに描写された考古学的要素や、それらの背景となった歴史あるいは文化的な背景について、考古学的に接近を試みる。文学と考古学の間に生まれる新たな可能性を提示。図版多数。  
▶46判・308頁／定価2,415円 ISBN978-4-7842-1430-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがごさいます。